

平成29年第2回議会報告会でいただいた意見・要望

No.	所管	内 容	地区
1	全体	<p>Q この地区は地滑り地帯で棚田。高齢化で離農が進めば、畔の崩落で地滑りにつながる。傾斜地で農地の大型化はできず、ほかで稼いだお金を農業に使っている状況。荒れた田が災害になれば個人の責任と言われても、個人では復旧できない。災害を誘発させないために農業をやっている。高齢化でいつまでやっていけるか、見通しが立たない。中学校の統合問題は決まったが、少子化が進んでいて何年後にはどの心配はあるが統合にむけてやっている。地域活性化委員会で頑張っているが、この地域が維持できるよう議会からも実状を知って考えてほしい。</p> <p>A どの地域でもあったものがなくなるということは深刻な問題だ。議会報告会は地域の声を聞かせてもらう機会でもある。真剣に考えていく。自助、共助で末端までしっかりやりたい。</p>	守門
2	全体	<p>Q 議員給与が高くないか。</p> <p>A 近隣と同じ、平均的である。</p>	湯之谷
3	全体	<p>Q 政務活動費はいくらか。</p> <p>A 月額8,000円です。</p>	湯之谷
4	全体	<p>Q 一般質問がメインの仕事か。</p> <p>A 他にもいろんな取り組みをしている。</p>	湯之谷
5	全体	<p>Q 新潟日報を見ていると魚沼市のことが出てこないし、話題性がない。本当に議会はこれでいいのか、魚沼市は今何が問題なのかということが言いたい。今までやらなかったことをやっていかなくてはいけない、ワースト2位からベスト10へ入るために論議していくべき。</p> <p>A ただいまの意見については20人の議員が一生懸命考えている。議員が10年、20年先を見据えて行くのは大事なことで、住民が少しでも幸せになるように真摯に受け止めながら勉強していく。</p>	小出
6	全体	<p>Q 年間で、魚沼市内で落としてお金350億、市外で落としてお金650億。これは仕組みが悪い。問題を一つ一つ考えていかないと先に進まない。</p> <p>A この問題については各議員、議会等の今後の課題としていく。</p>	小出
7	総務	<p>Q 災害対応の行政と議員の連携はどうなっているのか。行政側の方が早く状況確認の連絡を入れ、議会としても対応を早くして災害状況を知らせてもらいたい。</p> <p>A 行政としては、範囲が広く各区長さんに連絡を取りながら状況確認をする。議員も20名が現場に足を運んでいる。早いか遅いかは別として、一生懸命に議員活動をする。</p> <p>Q 時間が経過している現在においても、今年の魚沼市全体の豪雨災害被害状況がわからないので知りたい。</p> <p>A 今後は魚沼市各地域での災害状況を知らせていきたい。</p>	入広瀬
8	総務	<p>Q 議案第70号特別職給与について、副市長に就任して3～4カ月で給料を上げるのか、一般では考えにくい。実績を上げてからでいいのではないか。本当に3～4カ月で評価できるのか。民間なら様子を見るのが普通と思う。</p> <p>A 特別職報酬等審議会において決定され、答申された金額である。反対・賛成の討論があり、委員会、本会議において可決したものの。</p> <p>A 民間の会社でもヘッドハンティングという考え方がある。副市長においても、魚沼市が総務省に出向いて交渉をして来てもらった。</p> <p>Q 今後、副市長の仕事上の成果を市民にわかるように報告してほしい。</p> <p>A すぐに成果が表れるかは別として、副市長は総務省との人脈があることを含め、私どももその人脈を活用しながら魚沼市のために進めていきたい。</p>	入広瀬
9	総務	<p>Q 副市長には、入広瀬や湯之谷の山の奥までが頭に入っていて、対応のできる人を選んでもらいたい。</p> <p>Q 現副市長にプラスして、地元のことをよく知る副市長を置くべきと思うが、議員はどう思っているか。</p> <p>A 条例では2人。議会でも、条例に従い2人の副市長をとということで一般質問等で行っている。今ほど2人から意見を伺ったので、持ち帰り市長等にも話をさせてもらう。</p>	入広瀬

No.	所管	内 容	地区
10	総務	Q コミ協バスの実施について大変嬉しく思っている。コミュニティ活動における行政と議会の支援に感謝する。 A 特になし	入広瀬
11	総務	Q FMラジオについて、特定の市民を対象に実施した受信アンケートとはどういふことなのか。 A 嘱託員、民生員への480件程度のアンケートを行ったもの。 Q アンケートを取るなら無作為に行い、視聴率を取ってもらいたかった。	入広瀬
12	総務	Q ごみ焼却場の設置場所を二市一町で検討しているが、南魚沼市で決まったのか。缶・ビンなどのリサイクル施設は、魚沼のものは魚沼で残せないか。 A 建物の設置場所については魚沼・南魚沼市の境を検討している。リサイクル施設については審議中であり、平成30年1月に方向性を出す予定。意見として受け検討していく。	入広瀬
13	総務	Q 体育館はゲートボール場になり、雨の日に子どもの遊ぶ場所がない。「かたくり」はどうなっているか。 A 今年度中に発注、平成30年4月開園に向け急がせたい。	守門
14	総務	Q 他県に住んでいる親戚の家の処分を頼まれている。更地にすれば税金はどうなるか。原野にしたほうが税金上、有利か。 A 家はそのままにしておけば6分の1の税金であるが、雪下ろしをしなければならぬ。市としても今年の春、空き家調査を行って対応を検討している。 A 維持管理ができればそのままでもいいが、今後深刻になる課題である。	守門
15	総務	Q 新庁舎について。暖房は薪や雪でやっていただきたい。金がかかるからだめということだが、少子高齢化の中、目新しいセールスポイントが欲しい。テレビ局でも来て取材できるようなものはないか。 A お金をかけないように議決したが、魚沼産材を取り入れることも入れた。雪冷熱はイニシャルコストが課題。魚沼杉なども取り入れていくようだ。	広神
16	総務	Q 職員人事について。職員異動が早く、慣れたかと思うと変わる。課長も1年で変わることもある。例として、職員が異動したら熊の出没情報などはホームページでは更新されていない。職員異動は、市民のためになっているとは思えない。 A 人事権は市長。ただし、その話は市にしておきたい。	広神
17	総務	Q 入広瀬地区は、江戸川区の子供たちを30数年に渡り受け入れをしているが、これら自治体などと防災協定、友好都市を締結し、交流人口など一般の人も含めてやってほしい。 A 足立区、文京区、江戸川区の子供たちと1万人の交流がある。防災協定なども含めて、市に伝えておきたい。	広神
18	総務	Q 副市長の給与について。当初、来る前に金額が決まっていた。中央の人でもなくてはよいのではないのか。4万上げることは正しいのか。 A 中央のアイデア、パイプをつなげたい。新しい事業を取り入れたい。報酬審議会の答申もあった。様々な意見があったが、採決された。 Q 何にも変わらないとしたら、4万増やしても意味ないのでは。 A 任期は4年だが、今後も付き合いしていく意向もある。それら含めて判断したと思う。	広神
19	総務	Q 議案70号、副市長の給与は。 A 58万5千円が62万5千円となる。	湯之谷
20	総務	Q 局番795に光ケーブルの設置を願う。 A 6月の一般質問でもあったが、今後の課題である。	湯之谷
21	総務	Q 所有者の不明な土地の調査をしては。 A 土地の所有者対策については行政に報告していく。	小出
22	総務	Q 斎場問題の債権があるかないか。 A 債権のことについては持ち帰り検討課題にしたい。 Q 債権の放棄などもできるので検討していただきたい。 A 正しい方向へ議会で考えていきたい。	小出

No.	所管	内 容	地区
23	総務	Q 南魚沼からゴミ施設だとかいろいろお誘いが来ているがこれが何を表しているか。 A 二市一町で広域化し共同してやっていく。広域の中でできるものは広域でしていく。	小出
24	総務	Q 副市長の給与の改定において異議はないが、次回の副市長又は二人目の副市長を置いた場合給与はどうなるのか。市当局の4万円の提案の仕方が不自然だったのではないか。 A 答申というのは予算の前にするが、副市長が在籍しておらず、7月からの関係で在籍した後で答申となった。	小出
25	総務	Q 副市長の給与を上げる事には賛成しない。もう少し魚沼市の財政を考えたうえで判断してもらいたい。話がわからないという市民が多かったので、市民に情報が伝わっていない中で議会が賛成するのはとんでもない話だと思う。 A 市益のために必要であったと討論の中で聞いている。 Q 魚沼市の中を駆け回って市民の意見を取り入れてほしい。真剣に魚沼市を考えてほしい。	小出
26	総務	Q 議案70号が委員会で可決となった。反対者少なくがっかり。国とのパイプ、援助とは時代錯誤もいいところ。合併前と同じではないか。若い議員に賛成多くがっかり。 A 補助金を持ってくるために呼んだのではない。地方創生等、いい企画があれば国が応援する。国から来ていただくタイミングが今まで2回あったが手を挙げてこなかった。議会側からも来てほしいとお願いした。現在の市長が国にお願いした。 Q 国からの天下りではないか。名前を変えただけではないか。若い議員から知恵を。	堀之内
27	総務	Q 副市長の件は財界にいがたに出ていた。何のために来たのか？パイプとは？何がしたいのか見えない。本質は？ A 議員が出した提案を発信・発言してくれる国とのパイプ。発信源。可決したから終わりではない。 Q 発信することはあるのか？市民はわかっているのか？聞こえてこない。 A 国の力を借りなければならない。明確化していきたい。	堀之内
28	総務	Q 水道を使って泥を流した場合、水道代を負担してくれるか。罹災証明もらってからなのか。使っていないのかわからない。 A 各家庭で水道水を使っていたと思う。把握基準がない。情報を発信するように執行部にあげる。	堀之内
29	総務	Q 地域コミュニティ協議会について。3つの地域の集まりではなくても1つでは認定されないのか。 A 魚沼市では20~21を目標。予算を組まなくても100万円以内であれば地域の合意があったところからできている。地域の高まりが強くなってくると早い。 Q 今やっている活動プラス新しい活動しないため。今年秋に現在の内容を濃くしたものを区長に提案した。ワークショップは開いていない。 A 大きい集落が小さい集落を引っ張っていく。根小屋は活気ある。	堀之内
30	福祉	Q 入広瀬スポーツセンターの雨漏り修理検討をお願いします。 A 現地を調査して福祉文教委員会のほうで教育委員会等に話をしていく。	入広瀬
31	福祉	Q 娘のことを考えると人数の多い学校を選びたい。統合問題は怎么样了いるか。 A 3校統合案から地元、保護者の要望で2校の統合となった。前教育長はいさつで地域、当事者の主体性、考えを優先していく考えであると言っていた。将来的には決まっていない。学校は市内のどこでも選べるが、通学は親の責任となっている。	守門
32	福祉	Q 小出病院は駐車場の工事を数年している。もう少し困った人の優遇でもあったほうがいいのではないか。 A 冬前には完成したい。稼働しながらなので、なかなか難しい。安全第一でやっていることもある。もう少しなのでご理解をいただきたい。	広神

No.	所管	内 容	地区
33	福祉	Q 介護施設が不足していると感じるが、施設をつくっても職員も集まらないとのこと。どのように考えているか。 A 特養含めて民間がやっている。国の補助金はあるが、人が集まらない状態。待遇改善など委員会でも調査をしているが、人が集まらないので難しい。介護以外にも、給付型の奨学金などで後押しをしていきたい。また、小出高校のなど医療コースなど地元の人材確保に努めていきたい。また、第7期介護保険計画を策定中。	広神
34	福祉	Q 施設の利活用について。上条小学校の給食室は民具が保管されている。展示をして活用できないか。野山の幸資料館も文書の保管場所となっているが、建物は素晴らしい。利活用できないか。 A 回答なし	広神
35	福祉	Q 湯之谷小学校の井戸について。 A 不十分な水量である。	湯之谷
36	福祉	Q 湯之谷小学校食堂の机と椅子が大きくないか。 A 小さい子は椅子に正座で対応している。	湯之谷
37	福祉	Q 学校は土地の核になるのでバスの送り迎えは大変だが経費削減だけで考えてはいけない。学校統合については虫野と小出で統合することを将来的に考えていくべきでは。 A 学区の再編については現状の学区については残していく。大沢小学校と東湯之谷小学校で統合して湯之谷小学校となったが小学校の場合なかなか難しい。	小出
38	福祉	Q お金をかけなくても地域包括ケアができるので議員も自分のこととして考えてほしい。 A 地域包括ケアシステムについては取り残しの無いように計画していく。	小出
39	福祉	Q 湯之谷小学校の今の人数、湯之谷に該当する今年1歳の子供は何人か。その段階であれだけの学校を作っておいて、この先学校の運営はやっていけるのか。 A 湯之谷小学校区内の子供が何人生まれたかの数字はつかんでいない。小学校については残していく予定。 Q 湯之谷小学校のスケールとバランスはどうか。 A 今現在はいいい。	小出
40	福祉	Q 八百屋をやって7年。学校や保育園に納品したい。小出病院は市外の業者を使っている。違うのではないか。市内を使ってほしい。 A 市内の業者を使うように推進する。	堀之内
41	産建	Q 復旧には地元業者を使ってほしい。 A 災害の復旧等の工事には、現在でも地元の業者を使っている。今回も二次災害を招きかねないために、地元対応で、地元業者優先で対応してもらった。 Q 災害や修繕でも地元の業者を使ってもらいたい。	入広瀬
42	産建	Q JRの警笛音が最近大きくてうるさい。むやみに鳴らしすぎなので何とかならないか。 A JRのほうに話をする。	入広瀬
43	産建	Q 小出に通勤しているが、朝、大浦の交差点付近の渋滞がすごい。何の工事か。 A 7月の水害で向山の道路が通行止めになったことと、17号線とバイパスの信号待ちのために渋滞が起きている。	守門
44	産建	Q 7月の水害で堀之内、小出で大きな被害が出たが、今後想定される災害への対策は。 A 異常気象は今後も起こりうる。一級河川に土砂が入り込んでくる関係については、河床を下げる対応をしている。産建としても取り組む。 A 今後は復旧型から改良型で進めていく。国、県にも陳情を行っている。	守門

No.	所管	内 容	地区
45	産建	Q 農政に対する議会での質問がない。減反政策が終わり、このままでは守門、入広瀬など中山間地は荒れるばかりでだめになる。議員のみなさんから農業を考えてほしい。 A 県の方向もまだ決まっていない。今後、調査していく。 A 今できることは、値崩れを防ぐ対策である。生産者へは市としての補助も頑張りたい。販売の工夫については、特色を出すことで農協と連携してやって、中山間地農業を守ってほしい。	守門
46	産建	Q 農業公社では、効率の悪いところは切り離さなければならないとの声がある A 田んぼを荒らすと災害に直結する。対策を考えたい。	守門
47	産建	Q 傾斜地配分をなんとしても復活してほしい。農免道路の草刈りがやっと終わった。草丈が伸びて見通しが効かず、事故がなくてよかった。この地区は水不足で大変である。何とかならないか。 A 農業問題は頑張っってやっていきたい。草刈りは多くの意見を聞いている。	守門
48	産建	Q 三沢で熊が出没している。細野では猿が出たと聞いた。対策はとられているのか。 A どこにどれだけいるかは把握していない。人が里山に入っていかなかったことも原因の一つと聞いている。捕獲数も少ない実態である。 A 板木にも数年前から猿が出るようになった。最初の「おどし」が重要と聞いている。 Q ミツバチの巣をねらって2カ所に熊が来た。木穴にトタンを張ったり、周りの刈り払いをしたりした。捕獲オリの貸出基準を緩やかにしてほしい。地元にはハクビシン対策をしている人がいる。カラス対策もしていてかなり成果があり、製品の販売もしている。	守門
49	産建	Q 孫が東京にいる。5年生になると江戸川区との交流でスキーに来る。楽しみにしている。 A 市の体験・交流事業で年間9000人ほどが田植え、稲刈り、ちまきづくり、わら細工、尾瀬などを体験している。地域からも喜ばれており、市も継続していくものと理解している。江戸川区は小出スキー場へ来ている。	守門
50	産建	Q 江戸川区との交流で小出スキー場との契約は単年度契約であり、スキー場の先行きが不透明で心配だ。 A 31年度以降市としての支援がなくなるが、多大な影響があり、なくさないよう慎重に調査していきたい。	守門
51	産建	Q ゲートボール場が閉鎖されて草ぼうぼうになっているが、トイレ、水道もあり改修すればよくなると思う。交通量も多くなり、道の駅としての利用も考えてほしい。 A 場所もよい。慎重に審議していきたい。 Q ゲートボール場のトイレは夜は電灯も点くので使えるようにしてほしい。 A 条例も含め、調査したい。	守門
52	産建	Q 河川の堤防の舗装について。地域の要望など管轄はあると思うが、できるだけ対応お願いしたい。 A 地域で要望している。回答は、もう少し待ってくれとのこと。	広神
53	産建	Q 市の仕事は、市内に本社のあるところがやっている。魚沼市から市外へ勤めに行っている人がいる。その人が入れないのは苦しいところがある。 A 工業団地では、市のほうも、企業誘致に取り組んでいる。職種によって、意見をいただきながら対応していきたい。冬場の除雪の関係もある。職場確保ができるようにしていきたい。 Q 市外の業者が入れないのはいいと思うが、市民が市外へ働きに行っていること鑑みるといかなものか。 A 意見として受ける。	広神

No.	所管	内 容	地区
54	産建	<p>Q 公共事業（災害復旧・補修など）について、市の対応が感じられない。事業を始めるといったのに遅れている。やるといったのにやらない。河川も予算を付けたのにやらない。水沢で生活していると後回し感がある。歩道除雪など通学路でないから後回しだという。断るための方便でしかないのでは。</p> <p>A 災害対応は、小規模災害も含め、それぞれ迅速な対応していると感じている。市内均等にいったかはわからないが、職員はよくやっていると思う。国の助成を受けて行くと遅れるかもしれない。後段の水沢地区の件については、市に申ししておく。</p> <p>Q 歩道除雪について、市はしないそうだ。除雪車を買ってほしい。高齢者対策をしてほしい。市内に除雪車は何台あるか。あっちこっち行って効率悪そうだ。小型のロータリーが必要ではないか。</p> <p>A 台数はのちほど。除雪については声が多い。今後も強く市に要請していきたい。</p>	広神
55	産建	<p>Q 小水力発電はどのようなものか。</p> <p>A 池の平では売電している。根小屋は個人利用である。</p>	湯之谷
56	産建	<p>Q 冬季の消雪パイプで駐在所あたりが出ない。側溝に水もないし蓋がなくて危険だ。</p> <p>A （回答なし）</p>	湯之谷
57	産建	<p>Q 枝折峠の駐車場の拡張を願う。</p> <p>A 今後の検討課題。</p>	湯之谷
58	産建	<p>Q すずらん通りの拡幅を、救急車が入れない</p> <p>A 今後の検討課題。</p>	湯之谷
59	産建	<p>Q インバウンドの取り組み状況。</p> <p>A 始めたところだ、標記への表示を国に要望中。</p>	湯之谷
60	産建	<p>Q スキー場の今後について。</p> <p>A 31年までは現状維持です。</p>	湯之谷
61	産建	<p>Q 自主財源を40～50%に引き上げるために市民を巻き込んで取り組んでもらいたい。3項目の提案をしたい。1. 市、議会、観光業者で専門部会を開いて検討してもらいたい。特に観光資源をPRしてほしい。2. 流動人口を増やしてお金を落としてもらうために市の商工観光課に専門家を養成して専念してもらいたい。3. 市に観光に関する予算を増やし、推進・PRに使ってほしい。</p> <p>A 3点については検討していく。</p>	小出
62	産建	<p>Q 魚野川の堆積している土砂整備をしてほしい。</p> <p>A 河川の流木が災害を起こすので災害の無いように私どもも務めていく。</p>	小出
63	産建	<p>Q 誘客の話があったが、魚沼市は横の連携が取れていない。地域の活性化によそは力を入れているが魚沼はしていない。</p> <p>A これから議会で検討していく。</p>	小出
64	産建	<p>Q 産業建設委員会の現地視察は遅かったのではないか。パイプができたのであれば国から対策を取ってもらいたい。雪解けでまた崩れないか。対応が遅い。市当局を動かすのも議員の仕事。</p> <p>A 全体で視察に行こうとしたが日程が合わなかった。</p> <p>A 現地の測量が終わったのが10月末。本工事が遅くなった。</p> <p>Q 個人での活動はどうなっているのか。</p> <p>A 8月3日は委員会で行った。個人では当日から動いていた。</p>	堀之内
65	産建	<p>Q 市議会で人口減少、高齢化に対して何かアクションを起こしているのか。小学校農村体験を引き受けている。魚沼市に住みたい人が出て来てほしいと思ってやっている。議員もやってほしい。昨年、小千谷市の企画を引き受けた。市の職員が挨拶に来た。魚沼市は報道だけ。市長、市の職員出てこなかった。</p> <p>A 足立区1,000人くらい引き受けている。増えている。</p> <p>Q 旧町村でばらつきがある。不思議だ。</p>	堀之内
66	議会改革	<p>Q 毎年、議会や各委員会報告に条例一部改正・変更と言われるが、元の条例がわからないので、次の機会には変更箇所がわかるようにしてもらいたい。</p> <p>A 次回には、条例の中身がわかるようにしたい。</p>	入広瀬

No.	所管	内 容	地区
67	議会改革	Q 現在の魚沼市の議員定数は20人であり、近隣市と比較すると多い。16人くらいがベストと考えられる。議会から襟を正して何とか考えてもらいたい。 A 現在、議会改革特別委員会で検討を始めるところである。	入広瀬
68	議会運営	Q 7月の豪雨災害時に、避難警告の出ている中で議会を開いていたが、住民が避難をしている中で雨の当たらない施設の中で議会を開くとは、真っ先に住民の所に飛んでいくべき議員に腹が立つ。 A 申し訳ない。お詫び申し上げたい。	入広瀬
69	公共施設	Q 旧庁舎の利活用について。新庁舎つくるのに、守門庁舎の補修を金かけてまで、やる必要があるのか。 A 守門については北部支所として継続する。北部振興事務所、商工会、学童など集約するために守門庁舎は維持・整備していく。	広神
70	公共施設	Q 公共施設再編整備計画について、素案は特別委員会でも100ページにわたる計画を深入りして議論したことはない。議員も住民もわからない。煮詰めもなし。20年間で1500億円のコストだが十日町市は500億円で済む。寿命も一律40年だが、それでいいのか。60年間まで対応できる施設もあるのではないか。議会で全然議論していないのではないか。 A 委員会は1回行った。3分の1まで削減していくという話であるが、市民の意見の集約の報告を待っている。市民がどうしたら庁舎を利活用していくかの話を、これから委員会で議論をしていこうという段階である。 Q 建物の耐用年数を考えて、大事していく施設を考えていくべき。耐用年数の議論がない。耐震化計画を行った施設が増えたが長寿命化と同じこと。計画のコストは20万。尼崎市と同じ。ワークショップで100人も市民へ予算使っていないながら、さらっとしているようではどうなのか。議員もお勉強してほしい。 A ご意見を今後生かしていきたい。	広神
71	公共施設	Q 空いている学校の利活用について、小学校を壊すにももったいない。老人ホーム、民間譲渡など活用する方法、コールセンターなどどうか。 A 遺跡の保管をしている旧上条小学校など使える学校はある。また、堀之内病院の療養病床は介護等に使える施設。ぜひとも使ってほしい。人がいればできるが、引き受け手はなく厳しい状況である。壊すにも金がかかる。	広神
72	公共施設	Q 空き庁舎はどうするのか。 A 地域の声聞いて対応することとなっている。	湯之谷
73	公共施設	Q 公共施設の整備計画の話聞いたが、収入減の中ではやむを得ないという面もあるが、残せるものは残していきたい。 A 公共施設が多く、人口の割には施設が多い。全体の40%が旧耐震だが市民の声を聞いて残すものは残していく。現在は市のほうもワークショップを開いているが、議論はこれからしていく。	小出
74	公共施設	Q 旧原小学校、旧堀之内保育所を今後有効活用してほしい。 A 旧6カ町村でワークショップをやっている。議会では公共施設再編特別委員会で審査。 Q 原小学校は民間が一時利用している。契約はいつまでか。 A 契約は平成30年3月31日までの5年契約。 Q 老人福祉施設、特養が必要。	堀之内